

町内会・自治会等ヒアリング（1回目）
地域の資源・課題編 結果概要
山岸・加賀野地域

※主な意見等を抜粋しています。また、同種の内容はまとめて記載しています。

「問1」については、各町内会等が主に属する地域の【地域別構想】をご覧ください、平成21年度の見直し時から約10年が経過したことを踏まえ、記載されている内容について、この約10年間で感じる地域の課題や変化、意見等についてお聞きしました。

①『地域の好きなおところ』について

- 自然が豊かで地域の伝統が残っている。恵まれた自然、山と川。
- 少子高齢化に伴いコミュニティの伝統が薄れてきている。
- 宅地化が進み、一部自然が限定されてきている。
- 消防署が新設されてよかったが救急車の配備が望まれる。
- 自然に恵まれて素晴らしいが、高齢化により活性化が低下している。
- 大正時代に行われた耕地整理事業により、田畑はほとんどなくなったものの、おかげで今なお規則正しい道路と閑静な住宅地の広がりを見せている。
- 四季を問わず中津川の散策路を利用する人が多く、また春から夏にかけては釣り人や子どもたちの水遊びの光景がみられ、中津川は市民生活に溶け込んでいる。
- 岩手山や岩山、愛宕山が地域のどこからでも望まれるのは加賀野地区の特徴である。
- 自然が豊か、まちなかをカモシカが闊歩。

②『地域の課題』について

- 高齢化が進みコミュニティ維持に不安。
- 商店の減少、集会所の不足。
- 都市計画道路が進まない。（町づくり形成の崩壊。）
- 河南地区にいくバスの本数が少ない。
- 道路が狭い。都市計画道路の見直しが必要と思います。
- 歩道がなくて危険、商店が少ない。
- 高齢者の一人暮らしが増えている。
- まちづくりへの関心の低下。
- 昔からの道路で拡幅ができなく、抜本的に進めないと問題が残る。
- 加賀野四丁目寄り、妙泉寺山の杉の木が高くそびえ、住宅地を暗くしている。
- 加賀野地区には多目的広場がなく、地域的な祭り、イベントなどができない。
- 老朽化した空き家が目立つようになり、防犯上、公衆衛生上よろしくない。
- 高齢化、空き家対策（庭木の繁茂）、路上はみだし等。

③『地域の資源・課題マップ』について

- 市役所の岩手医科大跡地への移転について、本町の空洞化。
- 子どもたちの遊び場が少ない。

- 信号機の設置がないため、夜に横断歩道を渡っているときの高齢者の死亡事故があった。
- 病院、商業施設が洞清水にはない。
- 山村の樹木が倒れバス路線をふさぐ恐れがある。

④その他

- コロナのためか城東中学校側を通り岩山への登山（散策）する人が多いように見受けられます。市民の方のちょうどよい散策路ですので城東中学校よりの登山道を整備していただきたい。
- 市営球場跡地を公園化し高齢者、子ども等が運動、散歩等できるような施設にしてほしい（10年後）。
- 道路問題について（県道、市道）⇒歩道設置、歩道の改修。
- 指定避難場所の整備（バリアフリー化）。
- 青線（古い公図に表示されている水路等）・赤線（一般的には里道と言われる認定外道路）の整備、特に水路。
- 空き家対策。
- 狭い道路を早く。歩道もほしい。
- 県営球場の跡地をどう活用するのか。
- 三ツ割にあった旧ごみ焼却炉の跡地の活用は。
- 山賀橋から文化橋にかけての中津川左岸に護岸が施されておらず、大雨の時は住宅地近くまで水嵩があがる。護岸整備が必要ではないか。
- 中津川河川敷の遊歩道が増水や雑草の繁茂で完成当時より狭くなっている。

「問2」については、まちづくり全般に関する意見についてお聞きしました。

- マスタープランについて、住民から行政へ提案方式を行い、それを審査し、まちづくりに反映させる。
- 上盛岡駅ホームについて、中央病院側をお願いしたい。（駅の職員が不在のためとの理由。）⇒不便である。
- 町内会の役員になる人がいない。ボランティア。
- 人命に直接かわる救急車の配備（当町内会は高齢化が著しい）を山岸消防署をお願いしたい。
- まちづくりについてまず道路だと思います。
- 上ノ橋、中ノ橋、下ノ橋に象徴されるように、盛岡は「みちのくの小京都」と言われて久しいし、そのことを市は観光の宣伝に使っている。しかしながら、上ノ橋、下ノ橋の歩道のアスファルト舗装はどうしたことか。なんの風情も感じられないし味気ない。欄干がなければありふれた橋となんら変わらない。なんらかの工夫を考えなかったのだろうか。せめて歩道くらいは石畳風（か、その類）にすべきだ。
- 除雪はよく入っていただいて助かっています。排雪にも留意していただくとありがたいです（道路幅が広いとすれちがいが助かります）。

町内会・自治会等ヒアリング（2回目）
まちづくりの方向性と基本方針編 結果概要
山岸・加賀野地域

※主な意見等を抜粋しています。また、同種の内容はまとめて記載しています。

「問1」については、添付した地域の現状データや、1回目のヒアリングの結果概要及び各町内会等が主に属する地域の【地域別構想】を確認いただき、各項目への追加、修正点や今後の地域のまちづくりに関する意見等についてお聞きしました。

①『まちづくりの方向性』について

- 河川内の樹木、雑草の整備。
- 年齢階層別人口割合などを考慮して進める。
- 高齢者のためのバスサービスはぜひ実現を。
- 加賀野地域は良好な住宅街が形成されており、基本的なまちづくりの将来像はその方向でいい。

②『まちづくりの目標』について

- カラスのねぐら対策。
- 感染症対策なども視野に。
- 自然災害を想定する。
- 地元を愛する心の表現がどこかにあるといい。

③『まちづくりの基本方針』について

- 子どもからお年寄りの世代間交流。年代が離れすぎて一体感をもった集会在難しい。
- 山岸地区の区画整理。塩の道を中心に行う。

④『まちづくりの方針マップ』について

- なし。

「問2」については、広く今後のまちづくりについて検討する必要があると感じることについてお聞きしました。

- 山岸、加賀野地域を空洞化させないような施設の分散に配慮を願いたい。
- 空き家対策。
- 山岸・加賀野地域という括りでまちづくりを検討していくとのことだが、山岸と加賀野の間には中津川があり、コミュニティが分断されている。人は都市の中心部に向かって行動しがちである。そう考えると城南・加賀野地域としたほうがいい。